

【教育学研究科教育学専攻博士前期（専門）出題意図】

【出題意図】

本大学院の博士前期課程の修学に対して、必要な教育学の基礎的な知識、研究計画に関する認識と意欲、文章作成能力を有しているかを判断するための出題である。

問1

教育という営みは絶えず社会の影響を受ける。教育学を探究する者は、常に社会と教育の関係を意識する必要がある。その意味で、この設問の出題意図は、教育という営みや教育という分野を現代社会とつながりや関係から論じることができるかという点にある。もちろん、自身の論考を進めるに際しては、根拠を明確にしながら論述を進め、適切な文章として記載されているかなども評価の視点となる。

問2

受験の出願時に研究計画書を提出している。そこに自身の問題意識と計画が示されているはずである。この設問では、提出された研究計画書と整合性がとれているか、また自分の研究が吟味されているかを判断する。その際には、自分の研究分野が、なぜに必要とされているのか、根拠として事例も踏まえているかなども評価する。試験時間内に文章として、読み手に伝える能力も大切と考えている。